

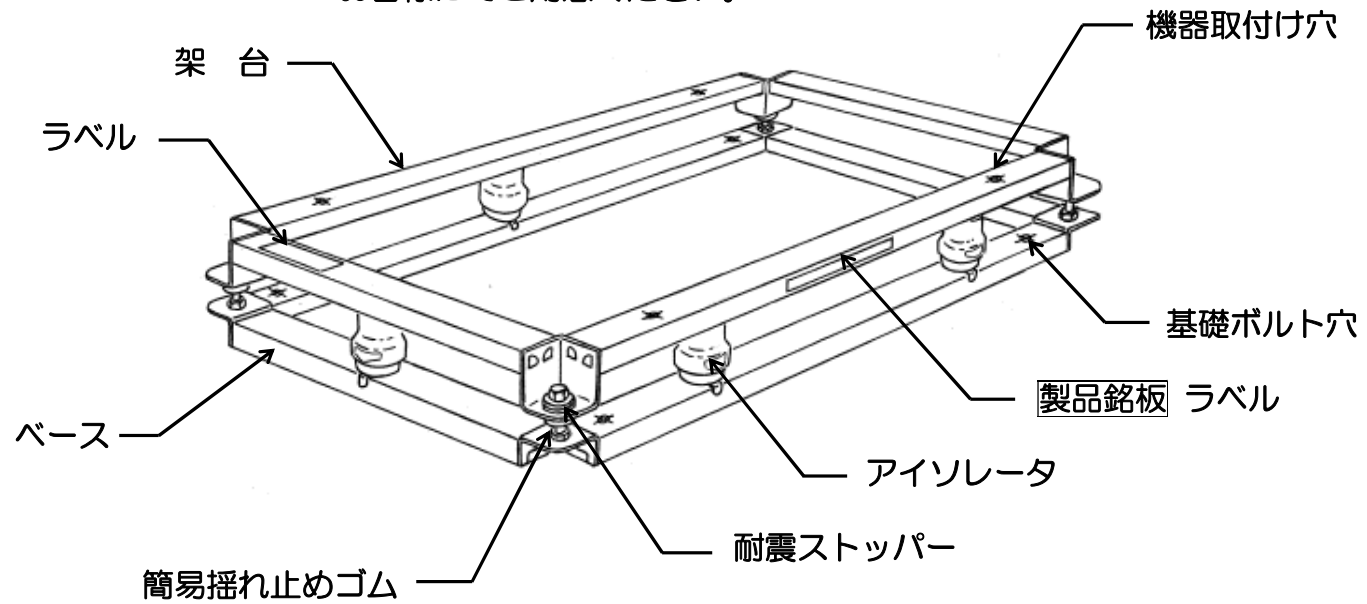


ヤブシタ MOA/BMシリーズ防振台 取扱説明書

この度は弊社防振台をご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みくださり、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってくださるようお願い致します。

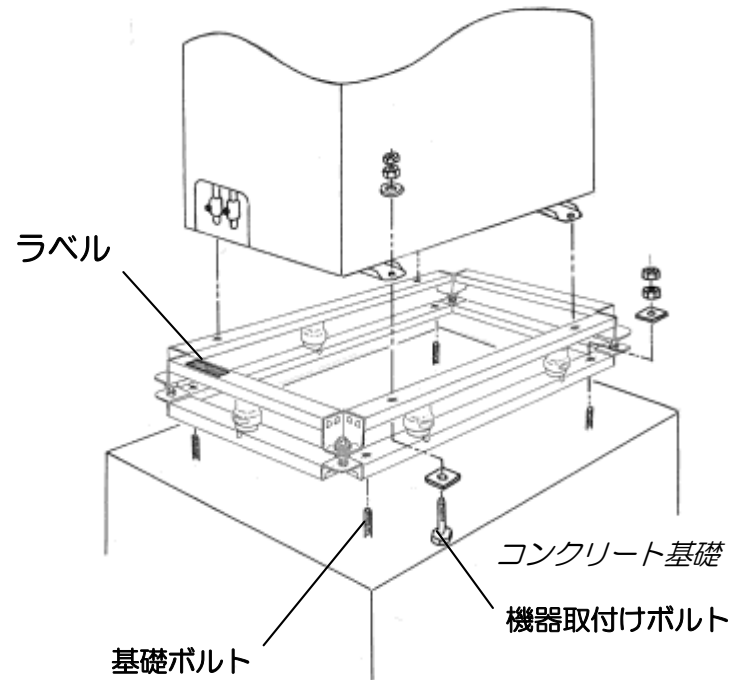
据付の前に

- 製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 付属品（ボルト・ナット類）をご確認ください。
- 基礎ボルトは付属しておりません。
お客様にてご用意ください。



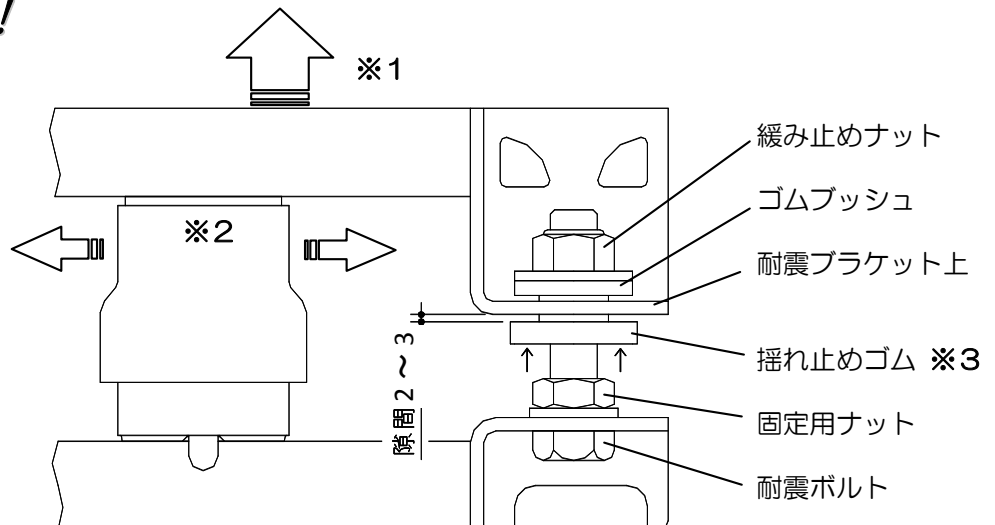
防振台及び機器の据付

- ↓ 機器と防振台の取付け方向を確認したうえで防振台を基礎上に設置し、防振台ベースを基礎ボルトで仮止めしてください。
 - ↓ このとき基礎及び防振台の水平をご確認ください。基礎面に凹凸がある場合や水平でない場合は、モルタルで補修するかライナーにて補正してください。（裏面参照）
防振台ベースを基礎ボルトにて強固に固定してください。
 - ↓ ラベルに注意しながら機器を搭載し、付属の機器取付けボルトにて仮締めしてください。
機器と架台を機器取付けボルトにて強固に固定してください。
- 最後に揺れ止めゴム※3をゴムブッシュ下部に向けて廻しながら押し上げ、軽く締め付けてください。



架台四隅のレベル差が5mm以上である場合や耐震ボルトがゴムブッシュ又は揺れ止めゴムと密着し耐震ブラケット上を圧迫している場合には調整が必要となります！

- ①緩み止めナットを十分に緩めて機器及び架台の水平を確認してください。
傾いている場合は架台をジャッキアップし※1、架台が低くなっていた側にアイソレータを移動させて水平となるように調整してください。このときはねケース上を手で掴み下へ押し下げ、ケース本体を多少傾けながら移動させると、比較的楽に作業が行えます。※2
- ②架台の水平が確認出来たら、緩み止めナットを締め付けながらゴムブッシュを介してナットと耐震ブラケット上とがお互いに接触しない程度に位置を調節してください。
- ③最後にネジワッシャが組み込まれた揺れ止めゴム※3をゴムブッシュ下部に向けて廻しながら押し上げ、隙間を確保しながら適度に締め付けて下さい。なお揺れ止めゴムは出荷時には最下位置にセットしております。



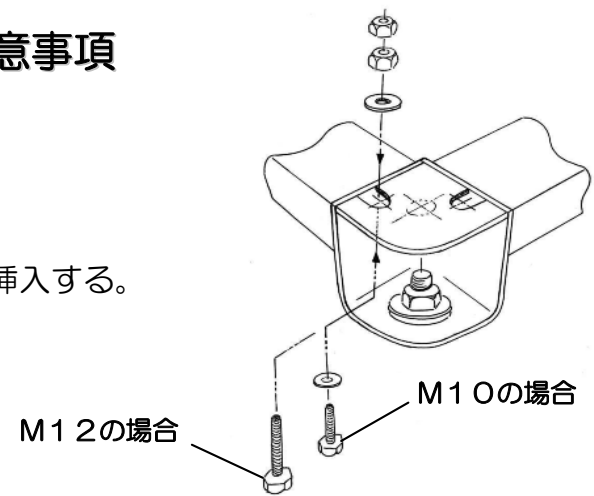
裏面もお読みください

右図仕様のコーナースタックへ機器を固定する際の注意事項

- 右図のように、コーナースタックのU字切欠き穴を使用して機器ベースを固定する場合は、ボルトサイズの違いにより防振台側のボルト付属品組み合わせが異なりますので注意下さい。

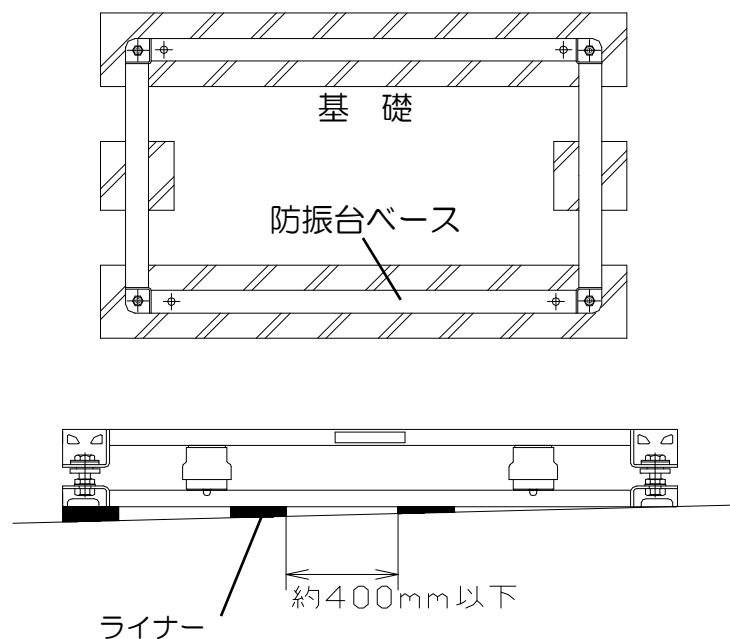
M10の場合：六角ボルトに平座金（Φ21）を組込み下から挿入する。

M12の場合：六角ボルトのみをブラケット下から挿入する。



基礎施工上の注意事項

- 基礎はレベルの出た全面基礎とし、ベースと密着するように平滑に施工してください。
- やむを得ずはり形基礎となる場合は、ベース部を出来るだけ支持する形状とするか（右図）H鋼等の剛性が高く歪みの出ないものの上に設置してください。
- 基礎据付面に凹凸がある場合や傾斜が付いている場合は、モルタルにて補修するか、防振台ベースとの間にライナー等を挿入して補正してください。
- 基礎ボルトは耐震基準に準じて埋設してください。

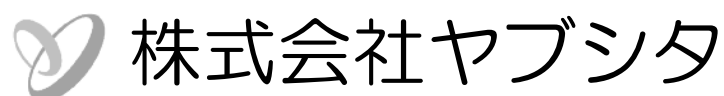


配管やダクトとの接続時注意事項

- ダクトを接続する場合、キャンバスダクト等を介して接続してください。
- 配管の接続は、Z曲げやループ配管等にて振動を吸収する施工をしてください。
- 配管やダクトなどの重量は防振台設計には含まれておりません。また防振台に無理な力が加わらないように十分サポートしてください。
- 溶接作業などの火花が当たらないように対策して作業してください。

ご注意

- ※ 廃棄する場合は本体ゴム部：産業廃棄物、その他：リサイクル鉄材又はリサイクル樹脂材としてください。
- ※ 作業時の安全確保には十分な配慮をお願い致します。
- ※ 予告無く本体の構造等を一部変更することがあります。



株式会社ヤブシタ

URL <http://www.yabushita-kikai.co.jp>

本社・札幌 TEL (011) 624-0021 (代)
函館営業所 TEL (0138) 26-3851 (代)

札幌工場 TEL (011) 391-8488 (代)
東京営業所 TEL (03) 6278-7475 (代)